

かほく  
ワークシート

問題

- ①伊達政宗が誕生してから今年で何年を迎えるのでしょうか。  
( )年
- ②宇和島藩の藩祖（初代藩主）の名前は何か。また宇和島藩は現在の何県でしょうか。  
宇和島藩の藩祖 ( )  
( )県

(小学校高学年・中学校/社会・総合・朝学習)

ることに歴史の奥深さを感じますね。政宗や伊達家について、さらに調べてみるのもよいでしょう。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・柴田町船岡小主幹教諭 坂本謙)

出題者から

今年伊達政宗生誕の節目に当たり、5月20、21日に行われた青葉まつりが例年以上に盛大に行われました。見物に行った方も多いと思います。仙台市と宇和島市は遠く離れていますが、現在も同じ伊達家のつながりがあ

時代絵巻

宇和島伊達家が参陣

総勢約5000人による時代絵巻巡行は、伊達政宗生誕450年を祝う先導隊が先頭を飾る。先導隊は選抜祭連「伊達の舞」、模様のサン・ファン・パウティスタ号、愛姫を乗せた山車などで構成。山鉦巡行が続き、仙台に伊達文化の礎を築いた藩祖の功績をたたえる。

伊達家18代当主の泰宗氏は政宗と同じ三日月の前立てかぶと、漆黒のよらい姿で登場。戦国家臣団、武者隊、鉄砲隊を従える。

愛媛県宇和島市の宇和島伊達家13代当主の宗信氏は初めての参陣となる。政宗の長男で宇

和島藩祖となった秀宗（1591～1658年）にならい、くわ形前立てのかぶと、紫系緞の具足を身に着ける。泰宗氏に続いて騎馬でさっそうと練り歩く。

秀宗は村田城(宮城県村田町)で生まれ、大坂冬の陣に徳川側として政宗と共に参戦。政宗の働きにより拝領した宇和島10万石の藩主となった。秀宗が初めて仙台の地を踏んだのは、政宗の葬儀の時だったという。

協賛会事務局は「400年の時を超え、政宗公が築いた仙台の街を2人のご当主がそろうって歩く姿は必見だ」と語る。

時代行列の後は、政宗のみ霊を乗せた青葉神社の神輿が渡る。しんがりは約2000人によるすずめ踊りの大流しを務める。

定禅寺通では午後2時半ごろ、時代絵巻巡行の隊列が足を止め、政宗生誕450年の「祝いの儀」が執り行われる。山鉦、時代行列、みこしが勢ぞろいする中、泰宗氏らがあいさつ。「三國一の武将」を目指す政宗の夢の実現を祈願し、当時の家臣の間で行われた「伊達の一本締め」を観客と一緒に再現し、生誕450年の節目を祝福する。